

連日30度を超す猛暑が続いています。じっとしていても汗だくになる暑さの中、「熱中症」による救急搬送のニュースが毎日報じられています。暑さへの対策は十分されているでしょうか。農作業など外での仕事が多い方々にとっては、暑さへの対策が欠かせません。「熱中症対策」として、「炎天下での作業はできるだけ控える」「こまめに水分補給をする」などが必要のようです。健康で安全にこの猛暑を乗り切りたいものです。



さて、西日本を襲った記録的な豪雨は、広範囲に土砂崩れや河川の氾濫など甚大な被害をもたらしました。特に、今回は、「想定外」の事態が重なり、「対応の遅れ」が問題となっています。

これらのことは、情報を発信する側にも、現場で状況に応じた判断とそれぞれの立場での対応の在り方が改めて問われています。これを機に、私たちも非常時における「想定される事態」はもちろん、万が一の「想定外の事態」への対応についても十分検討することが大切だと気づかされました。『台風の時』『地震の時』『火事の時』などについてどうするか、家族間でも具体的に十分話し合い、安全な対応ができるように心掛けておきたいものです。

鐘尾すこやかクラブ

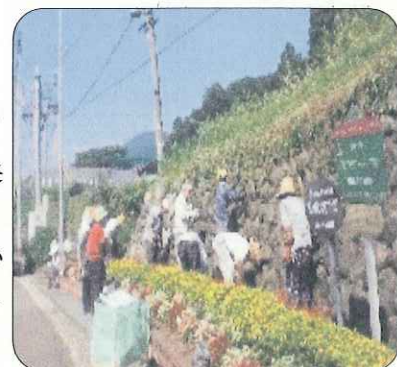
6月27日鐘尾公民館で「認知症講座」をしました。講師は地域包括支援センター水谷保健師さんと田中係長さんです。前半は水谷保健師さんの講話で、100歳体操は筋力体操です。水分補給が大切です。こまめに水分をとりましょう。熱中症の半数は65歳以上の方です。汗をかいたら水分補給することが大切ですと助言がありました。後半は田中係長さんの実技指導で、重りを調節しながらの体操でした。「ちょっときついなあ・・・」と思いながらゆっくり呼吸を整えて、アドバイスを受けながら楽しい時間でした。7月9日、台風で延期していた奉仕作業「神社の除草」を行いました。18名が参加しました。(鐘尾すこやかクラブ会長 坂本定雄さんより)



千原ときわ会奉仕作業

7月16日 大変暑い中、会員による奉仕作業「花壇の除草」を行いました。猛暑の中での作業で、日射病などを心配しましたが、皆元気で作業を終えることができました。

「暑い時だから早く帰って下さい」と申しても、集まればおしゃべりが楽しく、日陰に集い、時を忘れていたようです。作業後、集落より頂いた飲み物を飲みながら、「次に集まるのはいつですか」と楽しみにしていました。(千原ときわ会会長 田村豊和さんより)



八田コミセン催しのご案内

「夢を育む子どもの絵画展」

期間 8月1日(水)～8月30日(木)



*8月12日(日)午前10時より宮口久美夫先生の「絵の見方」講習会があります。

公民館だよりのお問い合わせは浅田まで(☎93-0306)